

いまして、大氷河期の就職活動時期で第一勧業銀行に就職しました。

・ご存知の方も多いかと思いますが、総会屋事件が一通り落ち着いた年の翌年で御座いましたし、入社後も合併に伴うシステム障害を何度も繰り返した「みずほ銀行」として話題の絶えない職場で色々な意味で大変勉強になりました。

・やはり文化の違う3つの企業が一緒の屋根の下で仕事をする難しさや社内改革のスピードを金融庁の指導とはいえ、お客様に対しても強いていくという強引さを肌で感じとりながら、サービス業とは到底言えない業務に毎日就いておりました。

・不景気の真っ只中でしたので致し方ないことだったのかもしれませんが、銀行員生活12年間の半分くらいは債権管理業務に就いていたかと思えます。

・ただ、数年おきに転勤があることが、救いでもありまして、東京の立川支店に入行後、北九州の小倉支店、千葉の稲毛支店、法人集約によりセンシティビルの1・2階にあります千葉支店、東京の西新井大師近くの足立支店と異動しまして、異動になる度に店舗統廃合の引越しを経験しました。

・小倉では、下関支店を集約するというので、私も毎日関門海峡をフェリーと橋で行き来するという稀な体験が出来たことは非常に良い思い出であります。また、後ろ向きな仕事も多かったですが、食事はおいしく生活環境は申し分なかった記憶があります。

・稲毛支店及び千葉支店においては、今となっては、人生の不思議なご縁が続くきっかけになった勤務地でございます。

・実は、本ロータリークラブ会員の企業様を数社担当させて頂いた経験もありまして、恐らく経営者側からすればしょっちゅう担当が変わる事から、ご記憶に無い経営者様もいらっしゃると思いますが、花光商会様、海浜不動産様、三基商事様、その節は大変御世話になりました。

・まだまだ、未熟な銀行員でいたので、皆様に育てて頂き今があるものと考えております。

特に、第一勧業稲毛支店が富士銀行稲毛支店に移転統廃合となった時には、会社都合とは言え、テナントオーナー様には大変後迷惑をお掛けいたしました、良い思い出として忘れて頂ければ幸いです。

・ちなみに皆様、バブル時期の都市銀行の数はご存知でしょうか？16行

三菱銀行・東京銀行・三和銀行・東海銀行・太平洋銀行（わかしお銀行へ）・住友銀行

・太陽神戸銀行・三井銀行・第一勧業銀行・富士銀行・日本興業銀行

・協和銀行・埼玉銀行・大和銀行・北海道拓殖銀行・日本長期信用銀行

・もう一つおまけに、日経平均の史上最高値もなんとなくご記憶にありますでしょうか？

昨日の終値は20400円と好調のようですが、

### 日経平均株価の推移



私が15歳（高校生）の頃ですね、うらやましいですね・・・、私もバブルを経験してみたいですが、

・もと銀行員として昔話を少しさせて頂くと、バブル崩壊のきっかけは、1990年3月、社会問題化した土地価格の高騰を抑制するために大蔵省（当時）が金融機関に通達した不動産向け融資の総量規制でした。

当時3万1000円台だった日経平均は半年で1万円以上下落。

株価急落に慌てた政府は総量規制を出した半年後の10月、株式など有価証券を担保とする取引の規制緩和を発表するなどこ入れを図ったが、バブルの破裂を回避することはできなかった。

また、1991年、バブルが崩壊する過程で証券界の闇の部分があらわになります。

証券会社大手が軒並み、大口顧客に巨額の損失補填（ほてん）を行っていたことが発覚し、証券界は激震に見舞われ、長期低迷を余儀なくされます。

1997年には、三洋証券が会社更生法の適用を申請。四大証券の一角を占めた山一証券は損失隠しにより自主廃業に追い込まれた。2009年3月10日バブル崩壊後の最安値の日経平均が7054円ということで、私が銀行員11年目の、自分で言うのもなんですが、油の乗り切った時期で、景気は絶不調という状況でした。

ただ、比較的業務に慣れて後輩の指導もしながらと、仕事も余裕が出てきた頃に、転職を考え始めました。

・そもそも、弊社を立ち上げようとしたキッカケは、稲毛・千葉支店に在席時に、市内の総合病院の融資と信管理を担当しており